

旧温知小学校の鬼瓦

資料提供 温知小学校
文 遠藤喜代子



旧温知小学校「鬼瓦」

この鬼瓦は、明治、大正、昭和に至るまでずっと、温知小学校の旧木造校舎の玄関屋根にあげられていたものです。昭和四十年代に入り、全ての木造校舎が取り壊されて、新しく鉄筋コンクリートの校舎となった時に取り外されました。

その当時の池田町長であった河瀬守男町長が、明治二十四年の濃尾地震後に、小学校校舎の建設にご尽力された樋口守之氏の御子孫である次之氏（現、赤坂在住）に記念の鬼瓦として預かっておいてくれるようにと置いていかれたそうです。今も樋口氏宅の庭に飾られています。

当時の卒業生の皆さんには、懐かしく思い出されることでしょう。

この鬼瓦の真ん中には「温知」の文字が刻まれています。当時はどの家でも屋

根に鬼瓦が据え付けられ、鬼瓦の真ん中に「家紋」が彫られたものをよく見かけました。しかし、現在では建築様式が変わり鬼瓦の屋根を見かけることも少なくなりました。



旧温知小学校正門と玄関正面

協力 郷土史の会